

家具の上に置いて楽しむ

観葉植物



価格が手ごろで、管理も楽だと
人気が上昇中の小ぶりの観葉植物。
インテリアとしての使い勝手もよく、
鉢カバーや花器との組み合わせしだい
さらに魅力がアップ。
洋室でも和室でも
合わせられますよ。

燃え上がる
緑の
かがり火が
ごとく

和室のテーブル

観葉植物は
一年中室内で楽しめる

30〜40代を中心に、観葉植物の人氣が高まっています。なかでも、キャビネットなど家具の上に飾れる程度の大きさのものが好まれていようです。かつては、冬の最低温度によって植物の選択が左右されましたが、現在では住宅の気密性が高くなって最低温度が上昇したため、ほとんどの植物が問題なく冬越しできます。最近は猛暑が長期化し、逆に夏のほうが人間にも植物にも厳しくなっていますが、室内ならエアコンが効いて管理や作業が楽です。こうしたことも観葉植物の人氣が高まっている理由だと思われます。

飾る前におしゃれな鉢に着替えさせよう



観葉植物の
魅力を再確認
してください。

園芸研究家

小笠原 誓

おがさわら・せい／名古屋
市で園芸店を経営。観葉
植物はもちろん、植物全般
の品種や特徴、栽培方法
に精通。また、江戸時代の
園芸にも造詣が深い。

リビングのテレビ台

ストレチア・ ユンケア

先端に小さな葉をつけた
長い葉柄のラインが美
しい品種。らせん状のユ
ニークな花器に入まし
た。横に広がらない草姿
なので、テレビのわきでも
視聴の妨げになりません。
日当たりを好むので、直
射日光の当たる窓の近く
に置きました。

葉のシンプルな
ラインに
花器で変化を

洗面所

ヒメモンステラ (左)と ガジュマル(右)

自然光の入る明るい洗面
所。衛生的なハイドロカ
ルチャー*で栽培してい
ます。ヒメモンステラはや
やつる状に伸び、ガジュ
マルはゆっくり成長します。

*ハイドロカルチャー……穴
のない容器を用いて、発泡
煉石と水で育てる栽培方法。土
を使わないので衛生的。

無機質な空間に
スリムなガラス器で
違和感なく

アスプレニウム・ ニダス・ プリカツム

最近注目のシダ植物の
仲間を、やわらかな間接
光の入る和室の座卓に
置いてみました。床の間の
花と呼応するように、
存在感のある草姿に薄
板で編んだかごを模した
金属製鉢カバーを合わ
せました。

「器は料理の着物」とは北大路魯山人
が残した有名な言葉ですが、「鉢は植
物の着物」です。市販の観葉植物は生
産していたときの鉢のままの場合が多
いので、自宅に迎えた観葉植物は部屋
のデザインに合わせておしゃれな鉢に
着替えさせてあげましょう。

きたおおじろくせんじん

キッチンのシンクわき

清潔感のある
ピュアホワイトの
ミニ鉢を
寄せて

ヒメモンステラ
(左)と
ディフェンバキア
‘アンナ’ (右)

ハイドロカルチャー*のミニ鉢を2鉢寄せています。清潔感のある白色の鉢の中央にある穴、ヒメモンステラの葉の切れ込み、ディフェンバキアの白斑が「軽やかさ」を演出しています。

ドラセナ ‘トルネード’

株を真上から見ると葉が台風の目のように規則的に回転しています。成長がゆっくりした品種です。縦長の花器を、中に「おとし」を入れて高さを調整して、鉢カバーとして使ってみました。

※おとし……鉢内に入れる小さな花器のこと。外から見えない鉢の場合は、空き缶や空きビンなどで代用も可能。

遊び心満点！
花器と植物との
組み合わせの
妙

和室の座卓の上

玄関のげた箱



かずら模様の
かごとつるが
織りなす
浮遊感



ヒメモンステラ
(ラフィドフォラ・
テトラスペルマ)

つる状の茎が少し伸びた
株を、金属製の花かご風
の鉢カバーに。生産に使
用されたプラスチックの
鉢と同系色なので、中が
見えても違和感がありま
せん。

鉢カバーで ドレスアップ

鉢カバーは、植物の生育を一番に
考える鉢と違い、素材やデザイン
が自由なので種類が豊富です。花
器や食器も鉢カバーとして使えま
す。植物や部屋に合わせて選ん
でください。鉢カバーを使用する際
のポイントを下に示します。

●底穴がないので、直接植え込む
ことはできない。

●植えられている鉢より口径と高
さが大きいものを選ぶ。鉢カバー
より中の鉢が高いと特に不格好。

●腰高(縦長)のものを使う場合、
植物が重いと転倒しやすいので
注意。

●鉢土を見た目のよいトッピング
素材で隠す。ヤシ繊維やインテリ
アパークなどは用土の乾き具合
が確認しやすいのでおすすめ。

リビングのテーブル



斑入り葉と
シンプルな白い花器の
さわやかな
組み合わせ



シェフレラ
“ソフィア”

枝がやや横に広がるので、
浅く大きめの花器を鉢カ
バーにして入れてみました。
鉢と鉢カバーのすき
間や鉢土を隠すためにヤ
シの繊維を使っています。

家具を傷つけない 対策を!

陶製や金属製の鉢カバーや
受け皿は、直接置くと家具を傷
つけてしまうことがあります。底にゴ
ムやシリコンのクッション材を貼
りつけたり、厚手のビニールシ
ートなどを敷くと安心です。滑り止め
にもなります。



シリコンのクッション材(中央下)
は、はくり紙からはがして受け皿な
どの底に3か所貼りつける(左上)。
ビニールシート(右)は鉢カバーな
どの大きさに合わせて切って用い
る。

最も大事な管理 水やりのポイント

鉢を受け皿に置いて管理している場合は、深めのプラスチックの受け皿などに移してたっぷり水やりし、鉢底から水が出なくなったら戻すようにします。小さな受け皿で水があふれるのを心配しながら水やりすると、少量しか与えられず水不足になりやすいものです。鉢カバーを使用している場合は、中から鉢を取り出して同様に水やりします。

ワーキングテーブルの上

シンプルな鉢カバーで
葉の模様を
引き立てる



ドラセナ
‘レモン
サプライズ’

黄色と緑色の間に白のラインが入るおしゃれなドラセナです。この品種は樹高10cm程度から150cmくらいの大鉢まで生産されています。成長がゆっくりなので株姿が乱れにくい品種です。



唐草模様のようなフォルムの透明な支柱。

長期間、室内で管理していると、観葉植物の姿はどうしても乱れてきます。ひどく乱れてしまったら切り戻しや植え替えなどが必要で、6月は最適期です。葉が乱れた程度なら支柱に誘引して整えるとういでしょう。緑色などの目立たない支柱を使うことが多いですが、逆におしゃれな支柱を使って目立たせるのもおもしろいですよ。

乱れた姿を整える



4

葉が立ち上がり整った姿に。
派手な支柱も
意外にしくりくる。



3

支柱を鉢土にさして立て、
渦巻き状の部分に
葉柄を通して支える。



2

黄色くなった葉は
つけ根から切除し、
枯れた苞葉は取り除く。



1

葉柄が伸びて、
だらしく広がってしまった
フィロデンドロン・セローム。

「観葉植物」

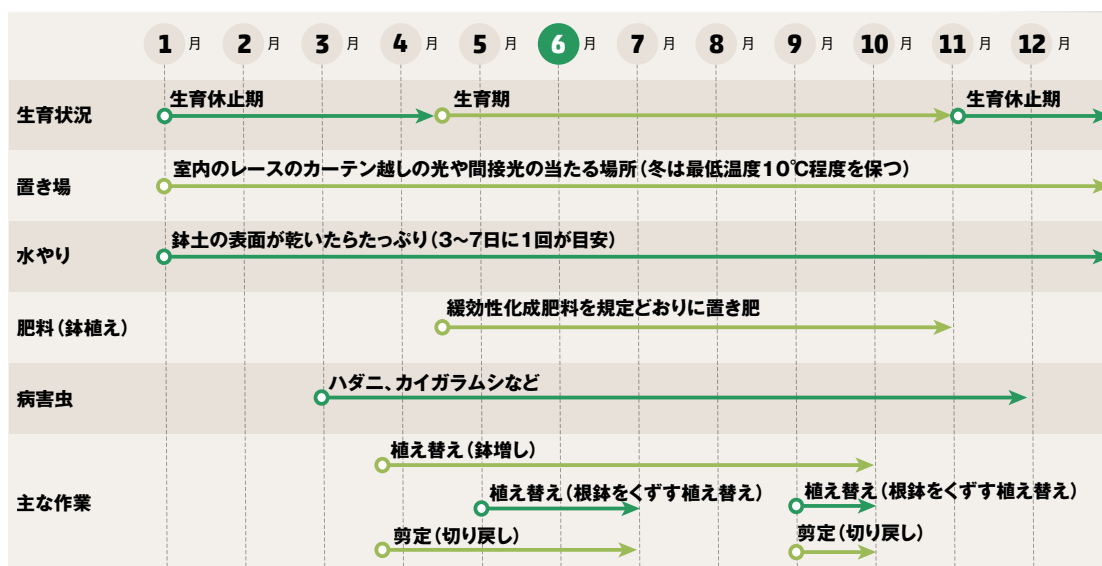
House Plant

2018年6月号

管理のコツ

- 自然光がまったく入らない場所はNG。ほとんどの種類は直射日光を避け、レースのカーテン越しの光や間接光の当たる場所に置く。
ストレチア、一部のフィカス、エバーフレッシュなどは直射日光が大好きなので、南側の窓辺の日が当たる場所に置く。
- 最低温度が10℃以上あれば、多くの種類は問題なく冬越しできる。
- 鉢土の表面が乾いたらたっぷり水を与える。ほこり落とし、ハダニ予防を兼ね、ときどき葉にシャワーをかける。
- 生育期には緩効性化成肥料(N-P-K=10-7-7など)を規定どおりに置き肥する。

カレンダー



関東地方以西基準

北国の主な管理・作業



1 北海道地方

冬に徒長してしまったものは、春から夏にかけて十分に日光に当てる。戸外に出す場合は、徐々に日ざしに慣らす。傷んだ葉は適宜取り除く。秋に室内に取り込んで冬越し。
(北海道大学・星野洋一郎)

2 東北地方(太平洋側)

この時期、午前中は戸外に出て日光に当てる。一度に強い日ざしを当てると葉焼けするので、加減をしながら行う。水やりは鉢土の表面が乾いてから十分に与える。
(園芸研究家・阿部文雄)

3 東北地方(日本海側)

年間を通して、よく日の当たる窓辺に置いて管理する。強い日ざしで葉焼けする種類は、レースのカーテン越しの日ざしを当てる。水は土の表面が乾いてからたっぷりと与える。
(園芸研究家・佐々木秋彦)

講師 / 小笠原 誓



基本データ

・科名・属名
種類による
・形態
常緑低木～高木、
常緑草本、つる植物
・原産地
熱帯～温帯
・草丈／樹高
種類による
・価格帯
種類、大きさにより
200～3,000円
程度